

令和2年第5回臨時会(7月臨時会)の議案と議決結果など

○: 議案に対して賛成 ×: 議案に対して反対 △: 採決の際に一部議員反対

令和2年7月18日議決分

Table with columns: 区分, 議案番号, 件名, 質疑, 討論, 議決結果, 会派名 () 内は所属議員数. Rows include 補正予算案 (80, 81), その他の議案 (82, 83), and 決議案 (15).

※決議案第15号は広島創生クラブが欠席

※質は議案について質疑があったことを、討は討論があったことを示します。

※議長(自民党・市民クラブ 山田議員)は表決には参加しません。

※議決時の所属会派は4面に掲載しています。

可決した決議

議員としての政治倫理の遵守に向けての決意を表明する決議案

広島市議会基本条例の第6条には、議員の政治倫理として「議員は、市民の負託により市政に携わる権能及び職責を有することを深く認識し、その負託にこたえるため、政治倫理の向上と確立に努めるものとする。」となっている。

しかし、いまだ具体的に説明責任を果たそうという姿勢と反省が見えない議員がいることにより、市民の政治不信が強まっている。

よって、私たち、広島市議会議員は、政治倫理を遵守し、公人として市民への説明責任があることを強く認識し行動することにより、市民からの信頼回復に向けて全力を尽くすことを表明する。

以上、決議する。

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

●特定都市再生緊急整備地域

都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、政令で指定する地域を「都市再生緊急整備地域」といい、この「都市再生緊急整備地域」の内から、都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域として、政令で指定する地域を「特定都市再生緊急整備地域」という。

●有機農業

化学的に合成された肥料および農薬を使用しないこと、ならびに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできるだけ低減した農業生産の方法を用いて行われる農業。

●脱炭素社会

地球温暖化の原因となる炭素(CO2)などの温室効果ガスの排出を防ぐために、大気中に炭素を排出する化石燃料以外のエネルギーを選択・使用したり、エネルギーに含まれる炭素を除去したりすることをまとめて「脱炭素」と呼び、そうした努力によって実現される持続可能な社会を脱炭素社会という。

令和2年第6回定例会一般質問の様子ははこちらから!

市議会ホームページ>議会議中継>本会議録画中継>令和2年第6回定例会 または市ホームページ▶ページ番号でさがす 185804



- 西日本豪雨災害からの復旧・復興 林業政策の拡充 安佐北区のまちづくり 広島市立病院機構の中期計画の変更 環境行政 水野考 (自民党・市民クラブ・安佐南区) 広島城天守閣 過大規模校における良好な教育環境の確保 祇園地区周辺の渋滞 地域福祉関係団体への応援金を通じたコミュニティ再生 田中勝 (公明党・西区) 新型コロナウイルス感染症対策 平和政策 防災減災対策 SDGsの推進 佐々木壽吉 (自民党・市民クラブ・東区) 新型コロナウイルスに関する経済対策等

祇園小学校の教育環境

児童数が急増し、施設の狭さが顕著になっている祇園小学校をどう認識し、どのように改善しようとしているのか。

教室や運動場など施設面で大きな課題があると認識している。このため、限られた敷地の中で運動場の有効面積の確保や仮設教室の解消などに向けて検討していく必要があると考えている。こうしたハード整備には、一定の期間が必要であることから、指定学校変更許可基準の改正のように、過大規模校のクラス増の抑制や児童の過密緩和等のソフト対策についても取り組んでいきたい。



祇園地区の渋滞

現状、祇園地区の交通渋滞はますますひどくなっている。この解消のためには、西原1丁目交差点の流れをよくするか、長束八木線を南に伸ばして交通を分散させるしかない。こうした対策についてどう考えるか。

現在、西原1丁目交差点付近の交通調査を進めており、早期に交通混雑改善策を取りまとめ、右折車線の新増設等を実施したい。また、長束八木線都心部側は、新庄橋への接続部分で交通処理上の問題があるため、整備見直しも立てた上で計画案を示したい。



水野考 自民党・市民クラブ

低炭素社会から脱炭素社会へ

地球温暖化対策として、目指すべき姿を「低炭素社会」から「脱炭素社会」へと前に進めてはどうか。

国は、最終到達点として「脱炭素社会」を掲げ、今世紀後半半早期の実現を目指すという長期的なビジョンを示しており、本市においても、温室効果ガス排出量の大幅削減に向けて、取り組みを加速させる必要があると考えている。今年度改定する「広島市環境基本計画」において、脱炭素社会の構築に取り組みむことを示し、市民、事業者の意識を高め、一体となって地球温暖化対策を進めていきたい。



田中勝 公明党

介護タクシーとの災害時輸送協定を

災害時、または災害が発生する前に、要配慮者をより迅速に輸送するため、介護タクシー事業者のような民間活力を利用し、介護タクシーグループと実効性のある災害時輸送協定を締結してはどうか。

本市では、広島県バス協会、相互個人タクシー協同組合などと協定を締結しているが、要配慮者の輸送には専門的な知識や技術を要することから、介護タクシーグループとの協定締結は非常に有意義と考える。今後、関係部局と協議調整を図りながら協定締結に向け準備を進めたい。

経済向上のための施策

新型コロナウイルスによる広島市の経済悪化について、中小・小売り、サービス業600社に経済状況アンケートを実施し、回収率38%で、うち経営が苦しいが85.4%の結果になった。

このことにより、市の金融機関、主に日本政策金融公庫に対し、迅速な融資実行や企業の実情に応じた配慮をするよう、改めて要望していただきたいと思います。

事業者の実情にに応じ配慮いただくようお願いしている。また、国は政策金融機関に対し、対応に万全を期すよう、累次にわたり要望を行っている。いまだに新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかず、今後、さらに事業者の経営状況悪化も懸念される状況において、本市の地域経済を支える中小企業をしっかりと支援する必要があることから、日本政策金融公庫に対し、迅速かつ柔軟な融資の実行などについて改めて要望を行いたい。



佐々木壽吉 自民党・市民クラブ

